・こどもまんなか社会の実現に向けた取り組みについて
・公共施設利用料等の減免措置について　・ワクチン接種の推進について



公明党
長嶋（ながしま）　陽子（ようこ）

詳しい内容はこちら

令和５年４月にこども基本法が施行され、子どもや若者を権利の主体として捉え、その意見を尊重しながら、社会全体で子どもを支えていくという考え方が明確に示されました。

こども基本法では、こども施策を進めるに当たって、子どもや若者の意見を反映させるために必要な措置を講ずることが地方自治体にも求められています。本市においても、子どもたちが安心して自分の意見を表明でき、その意見が市政に生かされていると実感できる仕組みを、充実させていく必要があります。そこで、こども基本法に基づく子どもの意見を聴く取り組みについて質問しました。

次に、群馬県では令和８年９月１日から、指定難病患者の方に対して県有施設の利用料等を減免することになりました。本市においても、指定難病患者の方々に対して市有施設の利用料を減免することは社会参加を促進する上で大変意義があると考えます。そこで、指定難病患者を対象とした公共施設利用料等の減免措置について質問しました。

次に、予防できる病気から市民の命と健康を守るワクチン接種の推進について、高齢者のRSウイルスワクチン※接種について、HPVワクチン※接種について質問しました。

※RSウイルスワクチン…妊娠中に接種することで、乳幼児の肺炎・細気管支炎の主要な原因である、RSウイルスの感染を防ぐことができる。
※HPVウイルスワクチン…HPVの中には子宮頸がんをおこしやすい種類があり、その一部の感染を防ぐことができる。

・平和教育および平和学習について
・国際交流および都市間交流について

１項目目は、平和教育・平和学習についてです。戦後80年を過ぎ、悲惨さを肌で知る戦争体験者は数を減らしつつあります。近年、「抑止力」という言葉が安全保障の中心に据えられ、軍事的な選択が「平和のため」として語られています。しかし、武力による抑止は相手国との緊張を高め、結果として戦争のリスクを増大させる可能性があります。戦争を防ぐ最大の力は、対話と協力、そして人権の尊重であることを確認することが求められます。そこで、本市における教育現場での平和教育や平和学習の現状、平和学習をめぐる今日的課題、地域での平和の啓発などについて聞きました。

２項目目は、国際交流・都市間交流についてです。今年度、本市では台湾との交流が積極的に進められようとしています。具体的には、本市と富岡市、長野県軽井沢町で構成する「2市1町広域観光連携協議会」による台北市への訪問。そして、本市単独での台南市との友好交流協定締結も計画されています。そこで、こうした国際交流と都市間交流の目的、計画の進捗状況、将来の交流発展に向けた方策などについて聞きました。



清風クラブ
松本（まつもと）　次男（つぎお）

詳しい内容はこちら